

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 吉田工業株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （果などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・ハラスメント相談窓口を設置 ・採用時に応募者の基本的人権を尊重した公正な採用選考を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・ハラスメント相談窓口を設置 ・就業規則にハラスメントを禁止する旨を明記 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・労働基準法改正内容を経営者・管理職に共有 ・長時間労働は正のため、衛生委員会からの提言を実行 ・多様な働き方を許容する勤務体制として、フレックスタイム制、短時間正社員制度等を導入								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			・外国人労働者も含め、技術的スキルの習得を図るために技能講習を計画的に実施 ・福利厚生等、全ての雇用条件で差別しない体制が構築されている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・安全で衛生的な労働環境の整備を行う為、安全委員会および衛生委員会です事故等の未然防止に向けて取り組み実施 ・労働環境の整備に関する活動状況は全従業員が確認できる掲示板を活用し周知徹底			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定・実行 ・メンタルヘルスに関する管理職の理解を促す為の研修を実施 ・メンタルヘルスに対応した休暇規定を整備・運用 ・保健師によるメンタルヘルス研修を実施			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・多様な人材が活躍できるようチームでの改善活動を月に1回実施 ・多様な人材の活躍状況をホームページ等で積極的に発信 ・職場いきいきアドバンスカンパニーダイバーシティコースの認証を取得済					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・職務や役割に応じた階層別研修を外部機関と連携した上で実施 ・資格取得支援制度を整備し、技能検定やビジネスキャリア検定等の資格取得に挑戦できるよう就業規則に明記し運用				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			・パートタイム・有期雇用労働法等の改正に基づき、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			健康経営優良法人プライト500（中小規模法人部門）の認証取得 ・全従業員を対象に歩行ケアによる歩き方改善指導 ・健康経営優良法人認定（経済産業省）を取得 ・全従業員にインフルエンザ予防接種を実施 ・AEDを設置し、緊急事態に対応できる体制構築済			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・廃棄物の種類、量など現状を把握し、台帳を整備、運用 ・廃棄物削減のための計画を策定（2023-2030）											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握 ・省エネ計画を策定し推進							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			・算定ツールを利用し、CO2排出量を把握し削減の計画を策定し推進							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切な使用の取り組み実施（法令改定状況の監視とその反映を環境事務局で実施）			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、環境活動について計画を策定している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・アルミニウムの鋳造生産をコア技術としており、実際の生産活動においては、不要部分(製品以外のゲート部分など)を再溶解し、再利用している												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・弊社表面処理(アルマイト)工程において処理時に使用された水については循環、中和され有事(消火用)のタンクに貯蔵、再利用される仕組み(貯蔵量を超えたものは排水)						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・ISO14001を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・弊社ホームページ上で環境に対する取り組み(環境方針)を開示												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・工場への太陽光パネルの設置と利用に努めている							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)															12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、就業規則を周知																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・不正競争行為を含む行動規範を整備し、周知している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・知的財産権の保護として商標等の取得、管理								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・個人情報の管理ルールを定め、関係者に周知した上で適切に管理している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・顧客要求対応に伴い定期的な調査を実施																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・取引先基本契約の要綱に基づきサプライヤーチェーンと適切な事業協力体制を構築 ・サプライチェーンの管理面や経営状態、環境への取組みなどを観点とした定期監査(1/3Y)を実施 ・書面上の定期的なサプライヤー評価も実施(1/Y)					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	パートナーシップ構築宣言を作成・公表する			3					8	9	10							17

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・製品を保証する為の仕組みとして、ISO9001要求事項に準拠した社内マニュアルや標準類を整備し生産活動を展開			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・ISO9001を取得済み(2004年度)									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・環境に配慮した生産活動をする為の仕組みとして、ISO14001要求事項に準拠した社内マニュアルや標準類を整備し生産活動を展開						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・自動車や建設機器などの部品生産で培った技術を基に医療や暮らし(環境)に関わる製品の生産、開発などに取り組んでいる (例)空気清浄:ナノシード、地盤調査部品、医療用MRI部品、風力発電用部品など	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・工場内に地域の方が利用できるレストランを設置し広く広報している ・工場周辺の地域の道路清掃活動を実施 ・水質や騒音の定期的な自主測定、監視を実施				4				9			11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・AEDを周辺地域の方が利用できるよう登録・情報公開 ・県の消防団協力事業所表示制度に加入 ・地域の次世代を担い人材に職業体験の場を提供(学校の企業見学、就労体験受け入れなど)				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			・地域企業、地域連携により製品の開発製造を行い、地産外商をしている(佐久産業支援センターや商工会議所、加盟企業との連携)								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			・社員パスポートとして全従業員に紙で発行 ・上記パスポートに経営理念を明文化し周知 ・全従業員に説明し、共有								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・職務分掌規程を整備し、組織が管掌する法令について遵守する体制を構築																	16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・環境業務権限規程を整備し、責任者、責任部署の責任と権限を明確にする体制とその運用実施																	16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			・自社の活動がステークホルダーに与える影響を把握し、適切な対応実施																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・TOP(社長)が策定する中長期経営計画の中で広義なリスク(経営全体に影響するリスク)のピックアップを実施 ・上記TOP方針として各部門へ説明(&配布)され、各部署方針書へ反映 ・各業務プロセスにおける安全衛生面のリスクについては部門単位でリスクアセスメント実施																	16
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ホームページ上に会社の経営理念、各方針、行動指針、会社の目的、社長自身のコメントについて公開 ・上記コンセプトに基づいた企業活動を展開																	16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・事業継続力強化計画について認定を取得(2020年)									9		11		13 13.1				16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・部長職を対象に事業継承に必要なスキルアップを図った上で2023年新任取締役を任命								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地球温暖化の抑制に貢献します	・CO2排出量を売上高比で38%削減(2013年度比)													13				
階層別教育の充実を図ると共に、資格取得に挑戦できる職場環境をつくります	・技能検定20名取得に挑戦します ・ビジネスキャリア検定10名取得に挑戦します ・外部研修の活用を図り、年間50回の受講を行います				4				8									
地元企業、地域連携により、製品開発を行います	・製品開発を7商品実施します									9								17